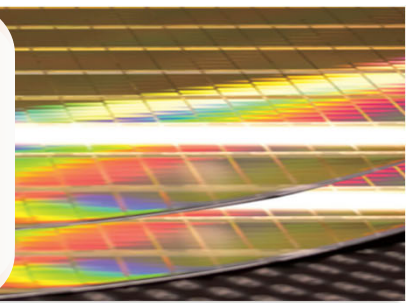
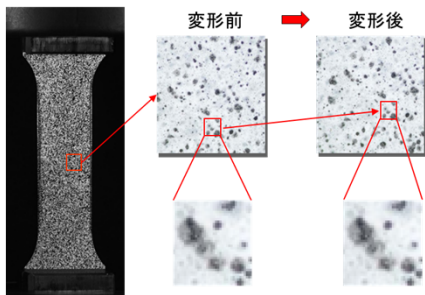


画像相関法



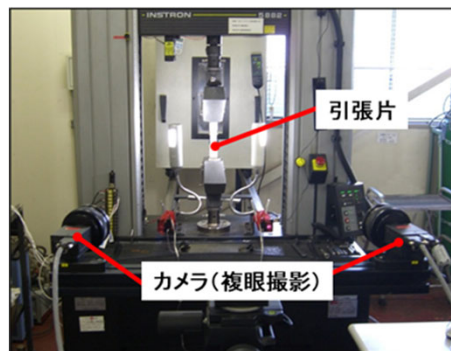
画像相関法は対象材表面に付与したランダムパターンを連続的に撮影・解析する事で、様々な変形（変位・ひずみ）を3次的に計測、可視化することが出来る技術です。

様々な変形(変位, ひずみ)を3次的に計測・可視化可能な測定技術

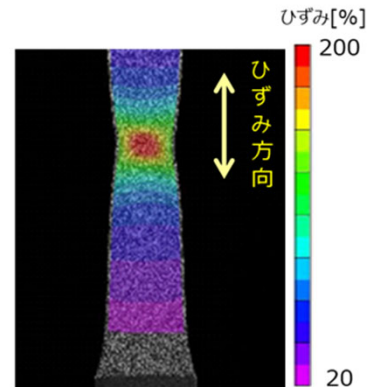


- ①サンプル表面にランダムパターンを付与
 - ②変形前後をカメラで撮影
 - ③ランダムパターンの移動を追跡
- ⇒微小変位を計測

変位解析結果よりひずみ分布も解析可能



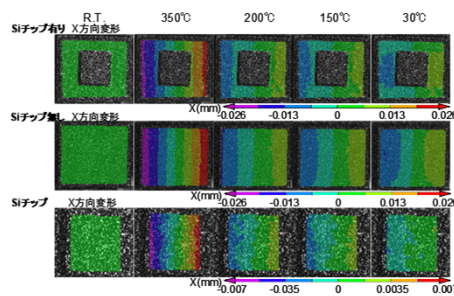
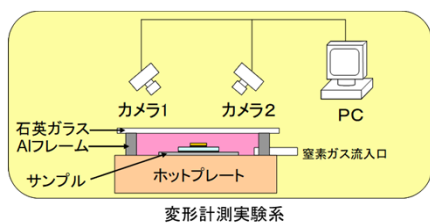
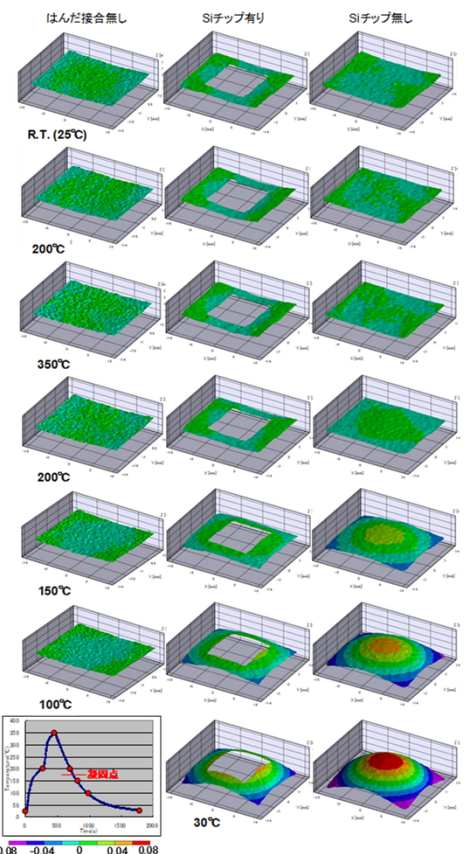
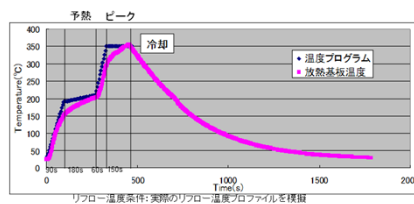
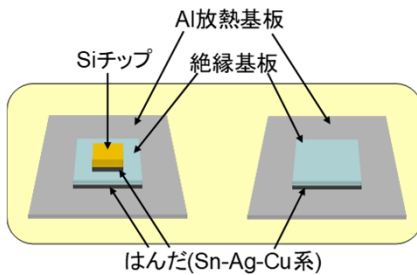
引張試験画像データ取得状況



引張試験中のひずみ分布解析例 (冷延鋼板の軸力方向ひずみ分布)

シミュレーション解析結果の妥当性確認、シミュレーション解析用要素の取得に適用可能

- ・ IGBT等の電子部品におけるリフロープロセス中の熱変形計測を模擬的に評価
- ・ 部材毎の変形量の差異を計測
⇒部材間の変形量の差異により反りの発生を評価、可視化



この技術資料に関するお問い合わせは、最寄り営業担当に連絡いただくか、もしくは弊社問合せ窓口までお知らせください。
mailto:inquiry_eigyo@kki.kobelco.com